



場内かけ声が響く

1月25日に追分高等学校で第19回追分剣道大会が開催され、胆振、日高、石狩、空知管内から小学生282名が参加し、個人戦と団体戦が行われました。

個人戦には156名がエントリー。団体戦は3・4年生の低学年24チームと5・6年生の高学年29チームが出場し優勝を目指しました。

競技会場は、選手が互いに一礼をした後、相手に向かって果敢に出でて、「メン」や「コテ」など打ち込むと同時に大きなかけ声が響いていました。一瞬にして勝敗

が決するだけに審判員も真剣なまなざしでした。

成績は次のとおりです。

団体戦(低学年の部)

優勝 千歳修心館A、準優勝 久保内剣友会A、第3位 苦小牧正心館・苦小牧如水館

団体戦(高学年の部)

優勝 苦小牧真義館A、準優勝 三石翔武館、第3位 苦小牧正心館・長沼剣道少年団

個人戦

女子3・4年生の部

優勝 田中(千歳修心館)、準優勝 鷲頭(苦小牧至誠館)、第3位 森近(久保内剣友会)・片岡(栗山剣道連盟)

女子5・6年生の部

優勝 柳本(三石翔武館)、準優勝 上田(苦小牧至誠館)、第3位 長峯(苦小牧真義館)・重岡(千歳修心館)

男子3・4年生の部

優勝 田中(苦小牧如水館)、準優勝 岩淵(千歳修心館)、第3位 岩永(千歳スポーツ少年団)・橋堀(久保内剣友会)

男子5・6年生の部

優勝 山口(三石翔武館)、準優勝 杉山 岩見沢鉄北剣道教室、第3位 鶴川(苦小牧正心館)・神田(栗山剣道連盟)

科学や体験をとおして環境問題を勉強

1月17日 環境をテーマに実験 eco パフォーマンスをしているらんま先生やアルピニストの栗城史多氏くりきのぶかずを招いてあびらeco 学校が町民センターで開催されました。

らんま先生はオリジナルの教材を用いて科学マジックやバランス芸、ジャグリングなどを披露し、環境問題やリサイクルに楽しく取り組む方法を教えてくれました。また、単独無酸素登山をする栗城史多氏は、登山を始めたきっかけや高山病に苦しんだ時の様子、なぜ過酷とも言われる無酸素登山を続けるのかなどを話していました。

ロビーではほくでんによるエネルギーを起こす装置に子ども達が集まり、新聞紙で作ったエコバッグを見せ合う様子が見られました。



遠心力を利用してシャボン玉を飛ばすらんま先生

スケートって楽しい

1月13日から15日まで、安平町スケート協会主催で小学生低学年のスケート初心者を対象に25名が参加しスケート教室が開催されました。

氷の上を歩くことから始まり、転び方や止まり方を教わりながら、少しずつスケートに慣れた子どもたちは氷の上を滑る楽しさを感じていました。



止まり方を教わる子どもたち

「デジタル」をわかりやすく

1月22日 地上デジタル放送とデジタル家電についてと題した高齢者大学学習会が追分公民館で行われました。

講師の星川 猛氏(株式会社東芝 お客様部北海道地区担当課長)は、アナログ放送が終了する2011年7月24日までに地上デジタルテレビ放送に対応しなければならない理由や地上デジタルテレビの特徴、しくみ、テレビを見るためにはどのようにすればよいのかなどについて説明していました。また家電の省エネや節約術などについても話していました。

高齢者にとって家電製品の取扱いや買い替えはわからないこと



デジタルのしくみについて話す講師の星川 猛氏

や負担が大きくなります。受講者は、聞き取りにくいカタカナが飛び交うデジタル社会に順応すべく熱心に耳を傾けていました。